



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2023-24 クラブテーマ **気づき、ひらめき、ひろげよう**



2023. 11. 27

「ライラ報告」

No.2469 No.17



会長挨拶
三条南ロータリークラブ
会 長
熊倉 高志

本日はライラ研修の報告です。三条信用金庫の大坂さん長谷川さんよろしくお願いいたします。

前回は神様と仏様のはなしをしました。今回は日本に密教をもたらした、空海のはなしをします。数ある名僧なかで空海がなぜここまで有名なのか。三教指帰（さんこうしいき）という空海の著書を少し紹介します。24歳で書いたその内容は、儒教・道教・仏教のそれぞれをとりあげていることから、その年でそれらをほぼ理解しているというスゴ技です。儒教は孔子による仁義礼智信、道教は老子による無為自然（あるがまま）、仏教は現在、過去、未来をつなげた救いや悟りの世界、それらを劇場物語風にわかりやすく書いて仏教の優位性を説いた著書です。

この時代には遣唐使をはじめとした大陸との交流で様々な疫病ももたらされました。救いを求める民衆へと仏教に人気が集まるのもうなずけるものがあります。

桓武天皇の庇護を受けていた最澄から少しあと、空海は当時の嵯峨天皇から京都駅の南にある東寺すなわち教王護国寺を与えられました。別名東寺と呼ばれるその金堂に見ることができる立体曼荼羅が国宝の仏像群であり、奈良の興福寺や法隆寺の仏像から、ここに至る仏像の真骨頂なのです。その後、鎌倉以降に禅宗が隆盛となり、枯山水や茶室が京の街にひしめくこととなります。南禅寺、大徳寺、妙心寺といった名所です。

東寺があるなら西寺はないのか。飛鳥時代当初からの仏教寺院の多くは中国に習い、左右対称の伽藍が多かったようです。平安京にも東寺と西寺の両方がありました。しかし西寺は土地が低く水害のため、東側に住民も移っていったことから衰退したそうです。

- ◆本日の出席：41名中26名
- ◆本年度通算出席率：81.56%
- ◆本日のゲスト：三条信用金庫 大坂峻一朗さん
長谷川詠美さん
- ◆先週までのメイクアップ：▷11/11 米山学友会総会（ホテルオークラ新潟）へ太田義人さん▷11/14 北RC へ峰嶋由紀子さん▷11/24 次年度公式訪問等説明会（三条ロイヤルホテル）へ永桶俊一さん、田中康之さん
- ◆幹事報告：吉沢栄一幹事
- ▶第2560地区青少年奉仕委員会より「インターアクト年次大会報告書」送付されました興味のある方は、受付でご覧ください
- ▶三条市青少年健全育成ネットワークより「研修会」の御案内＝ご希望の方は事務局までご連絡ください▷2023年12月8日（金）午後7時～9時▷会場：三条東公民館：多目的ホール1▷講演内容：「犯罪実行者募集の実態～少年を使い捨てにする闇バイトの現実～」講師：三条警察署生活安全課

ニコニコボックス

11/27 11,000円 本年度累計 253,000円

熊倉会長「本日はライラ報告です。研修生の大坂さん、長谷川さん、よろしくお願い致します」

吉沢幹事「本日はライラ研修に参加頂いた大坂さん、長谷川さん、どうぞよろしくお願い致します」

石山君「本日は大坂さん、長谷川さん、ありがとうございます。よろしくお願い致します」

西潟君「ライラ研修発表者の大坂君、長谷川さん、いつもの調子で頑張ってください」

野崎君「ライラ報告、担当の石山さん、研修生の皆さん、きょうはよろしくお願い致します」

加藤君「先日、当社の50周年記念式典を挙行することができました。ありがとうございました」

坂井君、田代君、荒澤君、銅冶君「BOXに協力します」
関君「BOXにご協力ありがとうございました」



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー（スコットランド）
第2560地区ガバナー 米山 忠俊（三条北）
第4分区分ガバナー補佐 小出 和子（三条東）
会 長 熊倉 高志
幹 事 吉沢 栄一
SAA 田中 康之

事務局
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

ライラ報告

石山 昌宏 青少年奉仕委員長

10月21日（土）、午前8時集合でホテルオークラ新潟ヘライラ研修に行ってきました。3年ぶりの集合研修でした。



三条信用金庫
大坂 峻一朗さん



三条信用金庫本成寺支店大坂峻一朗と申します。

この度はライラ研修という大変貴重な研修会に参加させていただき誠にありがとうございました。また研修中ご指導くださいました青少年奉仕委員長の石山様、そして三条南ロータリークラブの皆様には、日常働いている中では出会えない方々や同世代と学ぶ機会を与えていただいたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

今年のテーマ「県民性をテーマに郷土愛を醸成し、郷土の人物に対する知識を深め、活躍できるリーダー像を学び、自分の可能性を発見し行動へと繋げる方法を学ぶ」を基に行われた研修を通じて学んだことを報告させていただきます。

新潟青陵大学特任教授、伊藤氏による基調講演にて、新潟県の県民性と人物史がテーマの講演でした。まず初めに統計から県民性を分析しました。新潟県は離婚率全国最下位、NHK受信料支払率全国3位、学校給食費支払率全国2位だそうです。全国的に見て決して賃金が高い都道府県とは言えませんが、支払うものはきちんと支払うという真面目さ、誠実さが顕著に表れたデータでした。一方で新潟県民は「野心がない」という言葉も印象的でした。

人物史から見ると、大倉喜八郎の話が印象に残っております。帝国ホテル、アサヒビール、日清食品などの前身を作った方です。大倉喜八郎は着眼点が違ったそうです。象徴するエピソードがございます。

当時藩主が通る際は、土下座しなければいけませんでした。大倉喜八郎の近所に住んでいた地主が、着物が汚れないように敷物の上で土下座したために閉門という刑罰となりました。当時はそれが当たり前でしたが、大倉喜八郎は大変反発したそうです。当たり前を当たり前としない感性がのちに日本の近代化を支える事業を手掛けることができた要因と言われています。

私自身に置き換えると、県民性である真面目・誠実に業務に取り組むことでお客様からの信頼を積み重ねていくことの重要性を再確認しました。時代が大きく変わっている中で、当たり前を当たり前としない感性がこれからはより重要になってくると思います。「真面目・誠実に取り組む、人と違う着眼点を持つ」。この2つが私の成長に繋がっていると思いました。

特別講演ではシドニーオリンピック背泳ぎ銀メダリスト中村真衣氏の特別講演でした。生い立ちから現在までの人生

の道のりを講演いただきました。普段聞けない貴重なアスリートの裏側や苦悩を聞くことができました。

印象的なエピソードとして、「なぜ背泳ぎの選手になったのか」が印象に残っております。小学校6年生までバタフライの選手でしたが、息継ぎせずに泳ぐトレーニングとてもきついという理由で練習に行かなくなったそうです。バタフライで全国大会に出場するような選手だったが、当時のコーチは、才能があると感じていたため、その練習がそんなに嫌なら泳ぎ方を変えようと決断をしたそうです。その決断が、今の人生に繋がっていると話していました。また一見キラキラした人生に見えますが、苦しいことの方がはるかに多い人生だったと仰っていました。辛いとき、苦しいときに家族、周りの応援してくれる方の大切さを再確認できたと仰っていました。

中村氏の講演を通して、人生の岐路は突然来るものだと感じました。人生は選択の連続ですが、何が人生において大きな選択になるか分からないからこそ、日々の地道な努力、周りの人の支えが、自分自身を成功へと導くと感じました。

今回の研修は私にとって非常に有意義なものとなりました。様々な業種・年齢の方たちから普段の業務の中では聞けない貴重な話を聞くことができ、多くのことを学ぶことができました。冒頭でも申し上げたように、この有意義な研修会に参加させていただいたこと、ほんとに感謝しております。

今回の研修で学んだことを活かし、少しでも地域社会へ貢献していけるよう努めて参ります。

以上で報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。



三条信用金庫
長谷川 詠美さん

三条信用金庫白根支店の長谷川詠美と申します。この度はライラ研修という大変貴重な研修会に参加させていただき、誠にありがとうございました。コロナ禍の影響で数年対面開催を中止していた中、三条南ロータリークラブの皆様には、今回のような貴重な機会を与えていただきまして、この場をお借りして御礼申し上げます。また、ご多忙の中、ご引率、ご指導いただきました青少年奉仕委員長の石山昌宏様には、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

まず初めに、国際ロータリー第2560地区ガバナーの米山様より、ライラ研修についてのお話がありました。ライラ研修とは、「若いリーダーを育て、ネットワークを築き、アイデアを広げ、行動を起こすよう若者の意欲を高めるた

めのリーダーシップ育成プログラム」だとおっしゃっていました。私はライラ研修とはどのような研修なのかイメージが湧いていませんでしたが、米山氏のお話で、コミュニケーションや問題解決スキルを磨き、地元地域で活躍できるリーダーについて学び、自分の可能性を広げ、行動へと繋げる研修であると感じました。また、普段会うことができない方々との交流を通じ、自分自身の知見を広げる良い機会となりました。

それでは、「県民性をテーマに郷土愛を醸成し、郷土の人物に対する知識を深め、活躍できるリーダー像を学ぶ、自分の可能性を発見し行動へと繋げる方法を学ぶ」というテーマを基に行われた1日の研修を通じて学んだこと、感じたことを報告させていただきます。

午前の部は、新潟青陵大学福祉心理子ども学部伊藤教授による基調講演、「新潟県 県民性と人物史」をテーマに、新潟県民の人柄や日本の歴史的場面に立ち会った新潟県出身の外交官についてお聞きすることができました。

新潟の県民性として、「責任感が強い、誠実、親切義を大切にする」。他には、「粘り強い、団結力と郷土愛が強い」とおっしゃっていました。

この県民性の通り、私も仕事に責任感を持ち、お客様に対して誠実に業務にあたっています。また、チーム一丸となって同じ目標に向かって協力し、目標を達成しなければなりません。個々のメンバーがそれぞれのスキルやアイデアを持ち、チームの目標達成に貢献する。全員が尊重され、存在意義を感じることで、団結力が高まるのだと感じました。

仕事をスムーズに進めるためだけでなく、自己成長へ繋げるためにも責任感と誠実さを忘れず、一つのチームとして仕事を遂行したいと思います。

次に、外交官と県民性についてお聞きすることができました。4名の外交官の紹介の中で、日米平和の懸け橋となった斉藤博のお話が印象的でした。斉藤博は、駐米大使として悪化していた日米関係を改善しようとした人物ですが、改善する前に亡くなりました。生前は、誠実に粘り強く外交交渉を行っていたそうです。粘り強いという他に、「最後まであきらめない」という言葉もあります。困難があっても必ず最後までやり遂げようとする斉藤博の姿に私は大きな刺激を受けました。

私自身、お客さまと交渉を進める中で、良い結果だけでなく、上手くいかないときもあります。私も斉藤博のように、困難があってもあきらめず最後までやり遂げ、結果に真剣に向き合うために、粘り強い交渉をしていきたいと思っています。

午後の部は、シドニー五輪銀メダリストの中村真衣氏による特別講演で、「人生山あり谷あり」をテーマに、つらかった苦しかったお話や困難を乗り越えた水泳人生についてお聞きすることができました。

中村氏のお話の中で、「つらかった、苦しかった、長かった。夢を持つということは、強い自分や弱い自分から逃げるのではなく、弱い自分を受け入れる、自分を成長させるということだと思う」というお話が印象的でした。夢を叶えるまでには、大変な努力と苦労があるかと思っています。目標のために何かを成

し遂げ、自分の可能性を引き出し、地道な努力が自分を成長させてくれると学びました。

午前の部でもお話ししましたが、新潟県民は「誠実で粘り強い」県民性です。中村氏はそれに見合う方だと思いました。

この講演の通り、私も働いていく上でつらいことや困難な出来事もありました。私自身のミスでお客様にご迷惑をかけてしまったことや、時にはお客さまからのお叱りを受けることもありました。それでもやはり、目標を達成した時の達成感やお客さまからのお褒めの言葉は、逃げずに頑張ってきたよかったと報われる瞬間でもありました。私も中村氏のように、弱い自分から逃げるのではなく、今の自分に何ができるかを考え、自分を成長させていきたいと思っています。

最後に、今回の研修を通して、自分の可能性を最大限に広げ、仲間とともに問題を解決し、「明日のリーダー」になるために行動することがリーダーに求められることだと学びました。

冒頭でも申し上げましたように、この有意義な研修会に参加させていただいたこと、本当に感謝しております。

今回学んだことを活かし、これから様々な場面でリーダーシップを発揮できるよう精進いたします。

以上で報告を終わります。

ご清聴ありがとうございました。



Rotary
Youth
Leadership
Awards

リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい……。

そんな考えを実現するための第一歩となるのが、

「ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)」です。ロータリークラブまたは地区が実施するこのプログラムで、若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨いています。

RYLAでできること

地元で活躍する人や豊かな経験をもつ人たちと一緒に：

- ・コミュニケーションや問題解決のスキルを磨く
- ・学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見する
- ・地元を動かすリーダーによる指導、意欲を高めるような講演、仲間との交流を通じた学び
- ・自分の可能性を発見し、行動へとつなげる
- ・楽しみながら、生涯続く友情を培う

RYLAの内容

RYLAのイベントは、14～30歳までを対象として、地元ロータリークラブや地区によって開催されます。地元のニーズに応じて、1日のセミナーから数日間の合宿まで、さまざまな形式が取られます。

参加方法

地元ロータリークラブがRYLAの参加者を推薦します。

12月のお祝い

◆ 会員誕生

吉沢栄一さん
藤田寛嗣さん
大原知弘さん
大溪秀夫さん



◆ 配偶者誕生

布施純也さんご夫人
坂井範夫さんご夫人
渡辺俊明さんご夫人

おめでとうございます

次回の予定

12/11 通常例会 外部卓話
三条市長 滝沢 亮 様
12/18 夜例会「忘年家族会」
於：ジオワールドV I P
12/25 休会

近隣クラブ例会変更

12/5 (火) 三条北RC 公式訪問
記憶場所：三条ロイヤルホテル

「ガバナー月信」のご案内

ガバナーと地区内クラブのコミュニケーションのため、毎月1日にウェブサイトにて配信しています。

【主な内容】

- ガバナーメッセージ
- 地区行事、各クラブの行事などの御紹介、報告
- ロータリーに関する重要な最新情報
- クラブの例会数、会員数、My Rotary 登録数
- 新入会員の紹介、および訃報
- 役立つロータリーの参考資料やリソースの紹介

R I 第2560地区のウェブサイトからご覧ください

<https://www.rid2560niigata.jp/>

(ガバナー月信12月号より抜粋) ⇒



ガバナー月信 2023.12



第22回ライラ研修開催報告
ライラ委員会
委員長
高木 豊隆 (新潟西 RC)

2023年10月21日(土)に第2560地区の第22回ライラ研修会が行われました。研修テーマ「県民性をテーマに郷土愛を醸成し郷土の人物に対する知識を深め、活躍できるリーダー像を学ぶ、自分の可能性を発見し行動へと繋げる方法を学ぶ」テーマに相応しいお二方にご講演いただきました。

午前は新潟青陵大学特任教授伊藤光先生より、新潟県の県民性と人物史と題しての基調講演いただきました。人物史上杉謙信と県民性など道徳性に大きな影響をと、新潟人の気質をよく考えさせられる講演でした。

午後からは私の水泳仲間シドニーオリンピック銀メダリスト中村真衣さんの特別講演「人生山あり谷あり」オリンピックメダルへの厳しい道のりで涙ぐむ場面もありました。懇親会では真衣さんが銀メダルを持って来られ、研修生の皆様がメダルに触れたり首にぶら下げてもらい、真衣さんとの撮影で喜ぶ笑顔がとても印象的でした。

一日開催ではございましたが有意義な研修会だったと思います。参加された研修生、ロータリアンの皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人としてまた事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること